

2011年7月13日 愛隣館みなさんとの研修会

## 愛隣館みなさんと考えていきたいこと

～が断ってきたこと、行かないことばかり・・・～

いちおー生活支援みたい  
なことやってます

有限会社しえあーど

NPO法人地域生活を考えようかい

李 国本 修慈

1. なんとなく私のことについて
2. 私がやってきたこと、思ったことなどなど
3. 今、これから(も)考えて行きたいこと
4. その他なんなりと・・・

今夜の話題・テーマはなんにしましょう??

地域生活支援

全ての方の存在価値

はたらく  
労働 としての はたらく!  
とりあえず  
なすがままに考えましょう

なんとなしに私のことについて

1965年メーデー生まれ

大阪府西淀川区出身

なので?か、  
くだらない駄洒落も少なく無い

ながら、芽が出ず、  
現在に至る・・・

元野球少年  
古田孝より  
上手かった  
ほんとうです

目標:スーパー少年

選挙権も無いよん

在日朝鮮人として  
日本国籍は無いけど市民権とかは無いってす

なんで運転手で、  
なんで看護学校な  
んかという・・・

高校卒業後にタンクローリーの運転手だとか、  
某市医師会の准看護学校や  
県立の看護学校に通ってました

分裂病だとか

私がやってきたこと、思ったことなどなど

看護学校に通いながら通った「重心施設」に衝撃・・・  
精神科医にもぶっ飛ばされる・・・

違和感 不滅感  
せんせんの無力感  
で、あほらしくなって止める・・・

そこで出会った人だとか・・・

海の生きものさんたちだとか・・・

で、90年代後半に・・・

いろいろなものが見えてきた・・・

自立障害者だとか  
療育等支援事業だとか  
国立療養所だとか・・・  
社会福祉基礎構老々車だとか・・・

何より、  
草の根として活動している  
方々に驚き、びっくり・・・

2000年9月に『地域共生スペースぷりば』オープン

兵庫県尼崎市南武庫之荘というところに

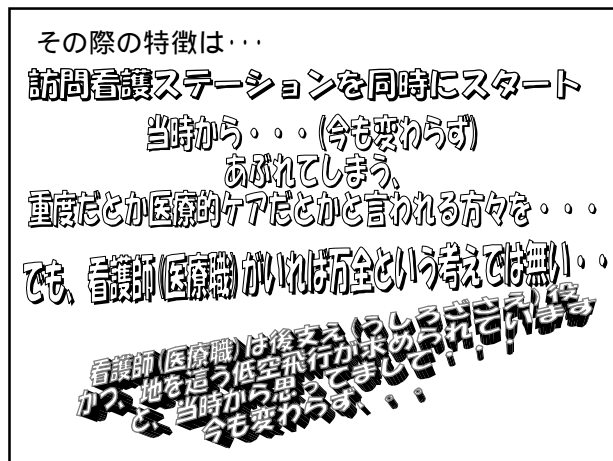
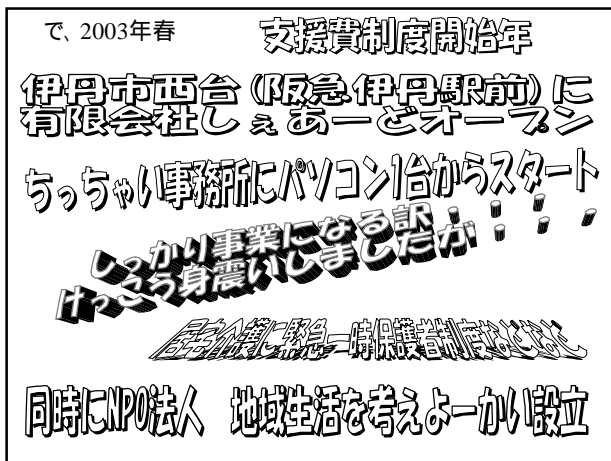
阪神間のへそ  
在日朝鮮人の居住地

2年ほどで利用者数  
300名っ!!

1時間1000円でなんでもしよう  
レスパイト 本人支援

あっという間のニーズの顕在化

ガイドヘルプ  
全身性介護人派遣制度  
緊急一時保護者制度  
他人介護料助成制度



訪問看護 その際に・・・

大変?看護師さんを雇うのは??

医療モデル的なモノの見方を変えるほうが大変

と言うか、そこ(それ)が大切・・・  
今も思う、「医療を部分」に入るのではなく、  
その人に寄り添うということ

要うしの場に関わると  
おもしろいように苦む人々・・・  
その人の個性??感性??

そこに向かわず本人さんたちの「力・はたうき」

かんたん!  
じゃないけれど・・・

で、半年後には

伊丹市鴻池(伊丹市の北のはずれ)に移転  
いちおー私の暮らす街でな、・・・

マンション1室(2LDK)を借りての拠点作り  
宿泊と入浴

もちろんの24時間体制で  
とにかく増え続ける  
共に遊ぶ、共に楽しむ

そこから(こそ)産まれる関係性

特にお風呂は大切なのだ(持論)

その翌年(2002年春)には

震災復興事業  
CB離陸支援事業の助成金で  
貸し店舗を活動拠点に追加



711-スペースとして活用



とにかく増え続ける需要の中で・・・

なんとも足りない社会資源  
その根源は??

最も期待したい心と事が機能しない間は??

とても悲しいこととして・・・  
変わりゆく人に添えない嘘だとか  
最も必要な「力」を感じながらもしないこと、とか

たいしたことではなく、  
あたりまえのことなんだけども、の

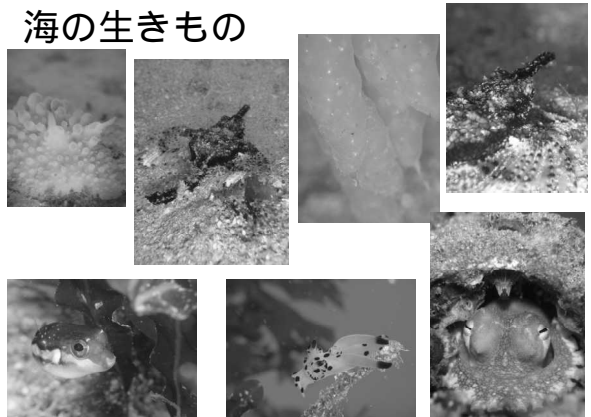
行き場の無い方々への支援  
というよりも、そんな方々と共に在りたい気持ち

懸命に生きる最中で  
変わり行く環境にきちんと張り合うこと

家人(主にはおかーちゃん)が倒れた際、  
あるいは亡くなられた際の私達の立ち位置は・・・

なんでもか  
「大変」にならざる社会を・・・

海の生きもの



で、私たちの活動 と言うか、ほとんど道楽・・・



利用者みなさんで  
170数名、なんと  
なく重度な方ばか  
りのようなイメージがあるかもですが、障害の程度だ  
とか有無だとかはあまり関係なく楽しんでいます。

子どもたちも楽しんでいます

それぞれのストーリーがあたりまえにあったりして



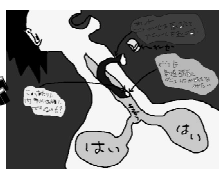
ものの見事に  
地域移行を果たした彼!!

2011年鴻池5丁目界隈野球選手権前に

彼女も壮絶な・・・



みんなほんとに  
書いてます



USJ

みんなほんとに  
書いてます

彼も楽しく・・・決して良い暮らしではないけれど



道楽がやじとされる  
毎日こんなんしてる訳ではないです



アホしてますが、  
ほんとに問題・課題は  
山積です。。。。



だけでもね、と。。。

彼らも・・・



なんちゃって対力の  
彼女・彼らの「うかうか」が  
「ばいばい」・・・



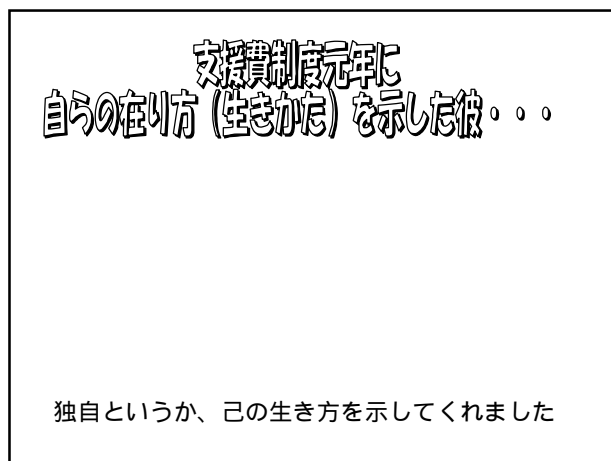
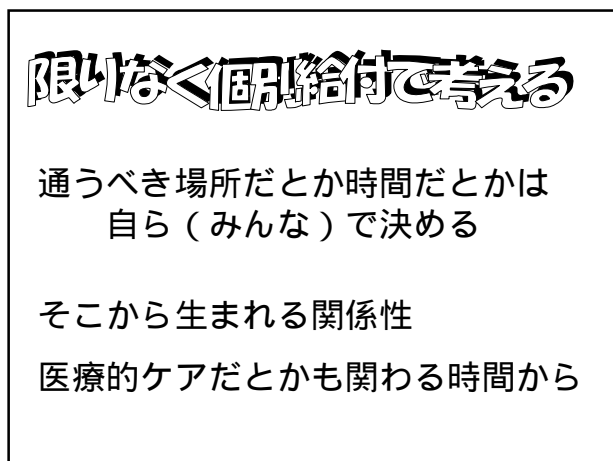
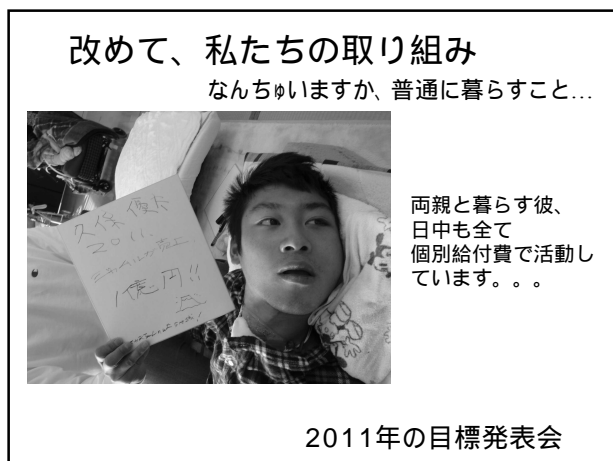
引き寄せられる私たち・・・

超重症児といわれる彼らも

やっぱ  
書いてます



私くにもどきは  
おぼろげな夢に  
おぼろげな夢に



おそらく彼の生き方が・・・

就労とか介護とかではなくっての・・・

## 生き方の選び方・・・

制度に合わせるとかではなく・・・

「自分らしく」とかって、よく言うけれど・・・

## 個別の対応が生み出すもの

おそらく生活に即していると思う

ご本人主体とはそういうこと

制度や職種で切り分けられない

そこから様々なことが産まれる

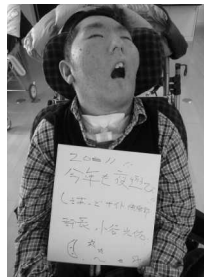
支援者と共にの相互主体の確立

ご本人さんの存在価値の明確化

2011年の目標発表会

「ふつう」ってなんやねん??

なんですが・・・



ふつーに考えていくこと・・・

なのかな?と

・・・訳解らず??

初詣・・・「吉」でした

1/13 おたんじょうびかい

ワッフルを  
作っているそーです。。  
なんか寝てますが・・・

7～8年前、彼女の母は「生まれてこの方、2時間と離れたことがない」等と言っていました。。

彼女らに導かれる私ら・・・

2010年のクリスマス会

超重症児などと  
いわれる彼等たちの  
普通って・・・

息すること、生きる  
ことの意味だとか、  
彼等の「力」、  
「はたらき」だとか

サンタのおばちゃん

彼等の力にぜんぜん追いついてない  
福祉・医療・地域・社会

2010年のクリスマス会



彼女・彼等の「力」「はたらき」を

なんちゅいますか、の医療ニーズの高い方たち・・・

2010年のクリスマス会

彼女・彼等こそを

しっかりと・・・

彼女・彼等こそが・・・

・・・と言うよりも

置き去りだとか

ほっとかれる存在ではなくっての

間違いなく在る彼女・彼等の存在価値

**彼女・彼等の「はたらき」  
生産性」**

彼女・彼らが主体的に生きる社会こそが豊かな社会  
立ち上がる（あるいは湧き上がる）主体と  
相互主体への導き、地域社会の変革  
「貧困」「無縁」の社会を変える  
それらが彼女・彼らの「力」であり「はたらき」

**糸賀一雄先生の仰る生産性**

2011年初詣



なんか特別なように  
見えるとすれば・・・



2010年  
鴻池夏まつり



来年もここに来る  
のが目標! って・・・  
— 昨年も言ってた・・・

そう、希望・望みがなくなつては!!

こうのいけスペースにて  
2010年9月に新拠点オープン

あたりまえに  
集える場所であること  
ちゃんと交える人がいること

ご自宅にて

場所がどうでも、  
つきあうこと・・・



USJにて

ほんでから、  
あたりまえに、  
お楽しみ・・・

彼等にとって、  
私たちにとっての  
「命」だとか  
「時間」だとか

おでかけ 山歩き倶楽部



ふつーに趣味の・



六甲山最高峰!!!!



こうのいけスペースにて

彼女・彼等の・・・と言えるスペースに  
それはきっと広さや大きさや位置だとかではなくって・・・

みんなでお出かけ



神戸フルーツフラワーパーク

しえあーど こうのいけスペース



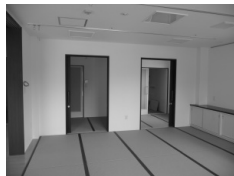
# 新・このいけスペース

みんなが使いやすいように  
みんなで設計

敷地面積374㎡ 約113坪

自己資金約1,500万円  
岡崎信用金庫から6,500万円の融資

彼女・彼等の介護給付によるモ/





このいけスペース



ゆとりです・・・  
贅沢です・・・**道楽です。**  
素振りもできます

なんで、こんな作るのか・・・  
はっきり言って、道楽的なつくり・・・  
如何に美味しくビールを呑むのか？  
が、その理由・・・

**それこそ、誰かにある存在価値を  
確したい(してほしい) 故の・・・だったり**

有限会社だからできるのか？

**今、まさに行なわれようとしている  
社会保障と税制一体の改革**

社会保障改革に関する集中検討会議

**障害者制度改革推進会議や総合福祉部会等で  
行われている議論と現実の方向性の乖離**

障害者基本法の行方

私たちが見失ってはいけないものは

#### 支援に係る課題と連携

重度だとかお金だとかはそんなに大きな問題では無い  
例えば、医療との連携/緊急時・・・

例えば資金・財力・・・

やっぱり 「人」

量としての「人」

思想としての「人」

それと、間違いなく在る筈の人の  
「存在価値」

#### 何が言いたい？

例えば・・・

ケアホーム等で「一緒に暮らそう！」  
・・・なんて言うけれど、。。

そう思うと・・・

「地域生活を支えるために」って？

ほんとに支えるの？支えられるの？

今日の研修会で

色んなことを感じられればと思ってます

\* 他人事ではない気持ちを・・・

べたな言い方ですが・・・

ケースワーク?ソーシャルワーク?相談支援?って・・・

そもそもの「サービス」だとか「支援」って何????

根本的な思想?(発想)の違い??

だけでも、これがけっこうな少数派だったりで・・・

だけでも、の、

それが本当の「福祉」だとか「人の心」じゃないかしら?

「共に」と考えた際に、これだけ制度の壁があったりするシステムは変えられませんか?

ヘルパーに必要な知識、技術とは

生活を変える、  
あるいは共に暮らす(生きる)とすると

なんとなく違和感ある問い

ヘルパーはもちろん、  
例えば医療職(看護師・医師など)も、  
決して万全・万能では無い

とすれば、  
00さん(の支援)に必要な「知識・技術」とは?  
という視点でないとまずいような・・・

なんとなく、看護師にあってヘルパーにない・・・  
といったイメージではなく

ヘルパーに必要な知識、技術とは

そのうえで、  
育成プログラム開発という視点で言うと

医療依存度の高い方への  
支援内容(医療的ケア)の持つ  
歴史的・法的意味の理解は必須??

そこには、今関心行われてきた会議の内容にあるような  
「ケア」を巡る議論では、誰の00さんへの支援(その方の暮らしの)  
成立基盤ということの議論は間違かなとも思われます

目指すところは、  
あるケアができる支援者育成ではなく、  
ある「人」と共に時を過ごす支援者の育成  
まるごと、その「人」と共に時を過ごす支援者の育成  
間違ってるかも・・・

ヘルパーに必要な知識、技術とは

具体的に、実支援の際にと考えると

基本的な解剖生理  
呼吸器・消化器・循環器・泌尿器  
様々な様態(病状など)の理解

脳性麻痺だとか  
低体重出生児だとか  
筋ジストロフィーその他神経性難病等の特徴や  
事故等後遺症、遷延性意識障害など  
といわれる方々のイメージを

ヘルパーに必要な知識、技術とは

もしかしたら、知識以上に、  
「意識」が、先ずは必要なのかも・・・??

医療モデル(のみ)に陥らない為の  
意識・知識が必要かも・・・

在宅医療だとか  
療養生活だとかではない、  
生活(暮らし)支援、もう少し言うと、  
共に生きたい(関わりあいたい)という意識

それをベースに考えることが  
大切なように思えます

ヘルパーに必要な知識、技術とは

吸引・経管栄養の基本的な知識・技術

+

様々な状況のイメージ

＜移動時＞や＜入浴時＞  
及び＜緊急時＞(起こり得る危険な状況のイメージ)

地域生活支援を行っている者からの  
ヒヤリ・ハット等の情報収集からの考察機会を作る

結局は、ある程度(短くない期間)、  
共に過ごす時間(時間)を如何に持てるかだと思うのですが・・・  
そのために・・・

どういうヘルパーを養成すべきか、到達目標の設定

やはり、主たる介護者にとって代われる支援者

とって代われる部分や場面は段階的で良い  
例えば、在宅での食事(多くは経管栄養)時の見守り(留守番)

例えば、在宅での入浴介助・・・  
それらは「ひとりで」ではなく、まず「ふたり(複数)で」から

障害福祉サービスには複数者介護があり、  
更に訪問看護との併用(共同)による  
支援機会の積み重ね及び継続などが必要  
と言っても、  
最初は母の手を預けず

テキストと講習（実技を含む）のプログラム作成スケジュールの検討

「あるにしても、嫌で言うくらいであるが、テキストの講習では、  
求めているような感じ、ひいては、その支援者も担っているか？と考える

大胆か？というか無茶な発想ですが、  
実支援をプログラムに組み入れるのは困難

おたくで実践している事業所は  
どういった取り組みを行っている

このあたり、  
「規制（育成）の制度に促されない育成過程を目指す」に期待